

滋賀が進めるユニバーサルデザインイメージ図

背景となる滋賀県の現状

- ・ 少子高齢化の進展
- ・ 障害者の社会参加
- ・ 国際化の進展 など

ユニバーサルデザインの考え方を取り入れて
「だれもが住みたくなる福祉滋賀のまちづくり」

基本姿勢

- 共生社会の実現を目指す
- 新しい社会課題に積極的に取り組む
- 県民、事業者、民間団体等との連携と協働に取り組む
- 障害者権利条約の考え方を根底に取り組む
- OSDGs、すまいる・あくしょんの視点を生かして取り組む

だれもが取り組む **ユニバーサルデザイン**

継続的な理解促進
当事者参画の仕組みづくり
ひとづくり、ともに学ぶ環境づくり

だれもが暮らしやすい
まちづくり
〔 利用しやすい施設等
移動しやすいまち
快適に過ごせる住まい 〕

だれもが使いやすい
ものづくり
〔 製品開発
製品の利用促進 〕

だれもが満足できる
サービス・情報の提供
〔 利用しやすいサービスの提供
わかりやすい情報の提供 〕

県

市町

県民

事業者

民間団体

連携と協働による推進

基本目標

～だれもが住みたくなる福祉滋賀の
まちづくりをすすめるために～
誰もが自分らしく幸せを感じられる
「健康しが」の実現